

別紙

送配電等業務指針第33条第1項第2号ア、イの要件適否の状況に係る詳細について(2019年9月末現在)

ア. 地域間連系線の利用実績

空容量/運用容量が5%以下の時間数比率(2018/10~2019/9)

連系線	順方向	逆方向	判定
北海道本州間連系設備	1%	72%	○
東北東京間連系線	3%	0%	
東京中部間連系設備	2%	85%	○
中部関西間連系線	0%	1%	
北陸関西間連系線	0%	3%	
関西中国間連系線	0%	0%	
中国四国間連系線	0%	3%	
中国九州間連系線	0%	29%	○
中部北陸間連系設備	0%	1%	※
関西四国間連系設備	1%	30%	※
中部北陸間連系設備 北陸関西間連系線迂回	4%	0%	
関西四国間連系設備 中国四国間連系線迂回	0%	3%	

判定 ○ : 運用容量に対する空容量が5%以下の時間数比率が、過去1年間で20%以上となった場合
 ※他の連系線への迂回が可能である潮流については、他の連系線に迂回したものとして取り扱い総合的に判断する

イ. 市場取引状況

市場分断処理の時間数比率(2018/10~2019/9)

連系線	北海道本州間連系線		東北東京間連系線		東京中部間連系線		中部関西間連系線		北陸関西間連系線		関西中国間連系線	
	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆
分断比率	0.7%	69.2%	1.2%	0.0%	1.4%	84.2%	0.1%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
判定		○				○						

連系線	中国四国間連系線		中国九州間連系線		中部北陸間連系線		関西四国間連系線	
	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆
分断比率	0.0%	0.8%	0.0%	19.1%	0.1%	0.8%	0.0%	0.8%
判定								

判定 ○ : 過去1年間に市場分断処理を行った商品の数が、過去1年間の総商品数の20%以上